

いづみ保育園

令和7年8月	申立人：保護者（連絡帳にて）
内容 以前は連絡帳にトイレでの排尿時間の記載があったが、最近は記入されていない。以前のように記載してほしい。	対応 トイレでの排尿に成功し始めた頃は連絡帳でお知らせしていたが、その後トイレでの排尿回数が増えてオムツの使用も減ったため記載しなくなった事を伝え、サブスクの利用は外してもよいのではと勧めた。引き続き連絡帳に加え口頭でも園での様子を伝えていく旨をお話しした。
背景 今年度から保育園では「オムツのサブスク」を導入しており、利用は保護者の選択制である。本児はサブスクを継続するか否かを判断するためにオムツの使用回数を知りたかったとのこと。	結果 了承いただいた。

令和7年9月	申立人：保護者（口頭および電話にて）
内容 保育室での噛みつきについて。子どもが噛まれた時の状況を詳しく知りたい。事前に制止できなかったのか。また、噛んだ子どもの保護者には伝えているのか。もし自分の子どもが噛むことがあつたら伝えてほしい。噛みつきの対策はどうしているのか。	対応 園長、主任、担任が保護者と面談して傾聴し、噛みつきを制止できなかったことを謝罪した。噛んだ子どもの保護者には、担任が園での全体的な様子を伝えながら自宅での様子などを聞いており、クラスの保育者間で共有している。クラス内で噛みつきが起こりやすい場所、時間帯を話し合った。
背景 本児がトイレに向かう友だちと一緒に歩いていた際に、狭い出入り口で本児に近づかれて苛立った他児に肩を強く噛まれた。保育者と位置が離れていたため制止が間に合わなかった。すぐに患部を冷やし、看護師に患部を見てもらった。その日の内に担任から保護者へ状況を説明し、主任と共に謝罪した。	結果 了承いただいた。

いづみ第二保育園

令和7年8月	申立人：保護者（連絡帳にて）
内容 「人を叩きたいなら自分で自分を叩きなさい」という指導を見直してほしい。休み中に自傷行為に近いことをした。	対応 不適切な働きかけだったことを謝罪し、子どもに不安を与えない言葉選びや対応を心掛けることを伝えた。職員間でも子どもへの対応は落ち着いて丁寧に行なうことを周知した。
背景 友だちとのふざけ合いの中で叩き合うことがあり、叩かないように伝えたが繰り返されたため、上記の言葉を掛けた。	結果 解決。

いづみ第三保育園

令和7年9月	申立人：保護者（口頭にて）
内容 駐車場の入口に車で進入するときは、スピードを落として徐行運転をするように、注意喚起をしてほしい。	対応 その日の内に注意喚起のメールを配信した。また、園だよりも記載して注意を呼びかけた。
背景 登降園時に、駐車場に入ってくる車のスピードが速くて怖かった。子どもと一緒にすると特に危険を感じた、とのこと。	結果 了承いただいた。

※これらの苦情解決実績については、第三者委員への報告とチェックを受けています。